

法花断層と木津川断層



法花断層の案内（往復 1～2 時間で「逆断層」を体感できます）

- ① 法花断層は奈良市月ヶ瀬石打から法花を通り大野木池尻に至る活断層（北には、「木津川」が流れ、さらに北には「木津川断層」があります）

※法花断層も木津川断層も、南北方向の強い力が加わり北側の地盤が南側の地盤に乗り上げできたものです。したがって、法花断層では法花側の山腹が急角度になっています。同じように、木津川断層では伊賀側の山腹が急斜面となっていて、御斎峠を越え北に進むと信楽に向かっては傾斜が緩やかになっています。これが「逆断層」の特徴です。

- ② 応感神社境内の竜王山登山口から登り始め、急な斜面の山腹をジグザグに登り続けると大きな巨岩が所々にあります。案内板があり、簡単な解説が書かれています。（応感神社に「竜王山登山道イラストマップ」がありますので、ご活用ください。）
- ③ 竜王山山頂には、三角点（標高 361m）と第 1 展望台があり北の方向の展望が広がっています（島ヶ原や木津川断層など）。案内板に従って西へ進むと「滑落崖」、さらに進むと「第 2 展望台」に到着します。南方向の展望が広がり、室生火山群の山々や布引山地・青山高原等、伊賀を取り囲む山々を遠くに眺め、伊賀は盆地であることを実感できます。

大鳥居前の交差点の標高 168m（竜王山の山頂三角点との標高差約 190m）

遠景（法花断層と木津川断層）



「法花断層を見て歩こう会」

☐花之木地区住民自治協議会では、地震による災害を常に意識し減災に努めるため兵庫県南部地震（阪神大震災・1995（平成7）年1月17日午前5時46分発生）の発生した1月17日直近の日曜日に、法花断層（竜王山登山道）のウォーキングを毎年計画実施しています。

【詳細・お問い合わせ】 花之木地区住民自治協議会・花之木地区市民センター TEL0595-21-3259

